

パートナー研修会の内容

7月6日(土)

第1回

(オンライン開催)

「わたしたちのやまなしを知る

～多様な人々がともに暮らす地域づくりに向けて～

山梨県内には多様な言語・文化をもつ方が生活しています。多様な人々がともに暮らす地域づくりに向けて大切なことは何でしょうか。この回では、日本語学習者の背景にある社会状況を知るとともに、文化を理解することの意味や、多文化共生の捉え方について体験的に考えます。

金丸 巧(山梨学院大学グローバルラーニングセンター特任准教授)

7月13日(土)

第2回

(オンライン開催)

「多様な人とのコミュニケーションを考える

～待つ・聴く・対話する～

私たちの地域に来た様々な背景を持つ外国人の方とどのようにコミュニケーションをとったら「同じ市民」としてつながることができるでしょうか。シアターワークを取り入れたワークショップを通して「待つ・聴く」を体験し、外国人とどのように向き合い、耳を傾け、心地よく対話できるかを考えます。

中山 由佳(山梨学院大学グローバルラーニングセンター特任准教授)

7月20日(土)

第3回

(対面開催)

「やさしい日本語ではなそう

～あなたとわたしをつなぐことばの実践～

〈会場〉
山梨学院大

「やさしい日本語」を知っていますか。多様な背景を持つ人々とのコミュニケーションに、今、「やさしい日本語」が活用されています。ふだん使っている日本語を「やさしい日本語」にかえるポイントを学び、実際に皆さんで使ってみます。

小林 信子(ユニタス日本語学校非常勤講師、山梨外国人 인권 ネットワーク・オアシス所属)

7月27日(土)

第4回

(オンライン開催)

「地域日本語教室とパートナーの役割

～わたしらしさを見つめて～

多様な人々が集まる地域日本語教室の在りようは様々です。今回は、山梨県内各地で行われている日本語教室の実践から「地域における日本語教室の意義」や「自分らしさ/その人らしさを活かした活動」について皆さんで考えます。

古屋 玲子(山梨県国際交流協会地域日本語教育総括コーディネーター)

8月3日(土)

第5回

(オンライン開催)

「多様な人々がともに暮らす地域づくりのために 私たちができること」

多様な人々がともに暮らす、多文化共生の地域づくりのためにできることは何でしょうか。最終回では、これまでの研修で考えてきたことを活かしながら、理想の地域像を目指して、私たちだからこそできるパートナー活動を一緒に考えます。

金丸 巧(山梨学院大学グローバルラーニングセンター特任准教授)

【注意事項】

研修内容の改善や文部科学省等への事業報告を目的として、研修の様子を録音・録画するとともに、研修内でのアンケートや振り返りデータは個人が特定されない形で山梨県及び文部科学省に提出します。また、録音・録画データを含め研修会において収集した情報については事業報告会等での発表に使用される可能性がありますので、ご理解、ご了承の上、ご参加くださいますようお願いいたします。